

左京区 伝統行事

平成18年8月2日

伝統行事カレンダー付き

ネットワーク かわらばん

第1号 発行：左京区役所区民部総務課

今年度の新しい取組

左京区役所では、今年度の新規事業として「左京に息づく伝統文化の保存・継承と観光振興～京都創生へ左京から～」に取り組んでいます。この事業は、次の2つを柱として進めています。

左京区内の伝統行事の保存会等の相互の連携や協力を進めるためのネットワークづくり

左京区内の伝統文化の保存・継承及び観光振興用の映像づくり

左京区役所では、平成16年度にシンポジウム「左京に息づく火の文化」を、続く平成17年度にシンポジウム「左京に息づく文化のつどい」を開催し、実演や展示を交えて伝統行事の魅力を区民の皆さんにお伝えするとともに、保存会等の皆さんから、伝統行事の抱える課題などについて語っていただきました。

今年度の取組は、これらの取組を踏まえ、ネットワークづくりや映像化を行うことで、伝統行事の保存・継承や観光の振興に生かしていこうという事業です。

また、この取組を通して、左京の魅力を改めて知っていただき、地域コミュニティの活性化や地域間のネットワークに役立つことができればと考えています。



平成17年度のシンポジウム「左京に息づく文化のつどい」

映像の作成は、左京区内の多くの伝統行事のうち、京都市登録無形民俗文化財と国の指定重要無形民俗文化財の行事を撮影しています。撮影は少しずつですが、順調に進んでいます。今年度内にはDVDが完成する予定です。

映像の作成

ネットワークづくり

詳しくはこちら

ネットワークづくりは、先日、7月10日に、18の保存会等の出席の下、第1回のネットワーク会議を開催しました。今年度中に4回のネットワーク会議を開催する予定です。

そこで、ネットワーク会議の開催ごとにこの「左京区 伝統行事 ネットワーク かわらばん」を発行し、会議の内容をお伝えしていきます。併せて、主な伝統行事の日程もお知らせしていきます。

第1回 左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議

日時：平成18年7月10日(月)

午後2時～4時

場所：左京区役所第2会議室

参加：18団体25名

内容：各保存会等の紹介

課題「伝統行事の後継者・人材の育成とそれを支える人々について」の取組の紹介

意見交換・情報交換



出席の保存会等(五十音順)

一乗寺郷土芸能保存会、一乗寺八大神社剣鉾保存会、市原八モハヒ講中、石座神社奉賛会、大原伝統文化を守る会、上高野念仏供養踊保存会、北白川伝統文化保存会、久多花笠踊保存会、久多山の神・お弓保存会、鞍馬火祭保存会、大文字保存会、花脊松上げ保存会、広河原松上げ保存会、広河原郷土芸能保存会、松ヶ崎妙法保存会、松ヶ崎題目踊・さし踊保存会、八瀬郷土文化保存会、吉田剣鉾保存会

裏面に
続きます

第1回ネットワーク会議 課題「伝統行事の後継者・人材の育成とそれを支える人々について」の取組の紹介

第四錦林小学校 海原清子校長

- ・平成14年度に部活動を始めるときに、地域のことを考える機会となるよう、地域の伝統文化のひとつである剣鉾を始めた。
- ・春と夏と秋の祭りに発表を行っている。
- ・総合学習の時間でも伝統文化を取り上げ、併せて部活動の募集もしている。
- ・現在の部員は13名。祭りのみの参加も認めているので、そのときは19名に増える。
- ・毎週水曜に保存会の方6～7名から熱心に指導してもらっている。
- ・鈴の音の鳴らし方や歩き方など、子どもたち自身も上達を感じている。



・子どもが部活動で剣鉾をすることにより、保護者の関心も高まり、地域のたくさんの方にも喜んでもらっている。

大文字保存会 長谷川綏二副理事長

- ・大文字保存会の構成員は年代が偏り、子どもが減ってきたため、継承の形を変えてきた。若い世代の意見を取り入れ、現在も検討している。伝統行事を守るより、どうしていくのかが大事である。
- ・2000年の記念行事の時に、ボランティアをしてもらったのを契機に、引き続き携わってもらっている。他に一般登録と大学も参加している。
- ・左京には大学が多いので、若い力を発揮してほしい。他の人材を入れることで地元の人もがんばることになるだろう。
- ・人材育成として、情報を発信し、まずは理解してもらうことが重要である。
- ・ネットワークを1年限りでなく、これからも継続し、区役所も伝統行事の情報を常に発信してほしい。



他の保存会等から

【上高野念仏供養踊保存会】伝統文化は、子どもの時から触れていると、自然と継承されると思う。上高野小学校の土曜塾で子どもに教えている。家族の方や学校の先生にもいい機会になればと思う。

【吉田剣鉾保存会】子どもに教えるときは型から入ると難しい。関心を持ってもらうように考えている。

【八瀬郷土文化保存会】八瀬赦免地踊の灯籠の彫刻を継承するため、小学校で灯籠教室を行っている。

【鞍馬火祭保存会】祭りは「仲間」が中心であり、新しい風を入れることは重要であるが、今は困難な状況である。自主警備のための人員が足りないので、ボランティア20～30名をお願いしている。

【松ヶ崎妙法保存会、松ヶ崎題目踊・さし踊保存会】妙法送り火では、それぞれ町、家単位で決められた火床を、それぞれの責任で点火奉仕を続けている。題目踊りでは、小学生を対象に太鼓の練習をしている。さし踊りでは、小学4年生以上の女性を対象に練習会を行っている。



- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|----------------------|---------------------|----------|----------|---------------------------------|------------|-----------------|----|
| 9月 | | | | | | | | | 8月 |
| 2日 | 31日 | 27日 | 24日 | 23日 | 19日 | 16日 | 15・16日 | 15日 | |
| 大原八朔踊 | 一乗寺鉄扇 | 久多花笠踊
修学院大白踊・紅葉真頭 | 広河原松上げ
広河原ヤツサコサイ | 久多宮の町松上げ | 上高野念仏供養踊 | 大文字送り火
松ヶ崎妙法送り火
市原八毛八踊・鉄扇 | 松ヶ崎題目踊・さし踊 | 鉄仙流白川踊
花巻松上げ | |

伝統行事カレンダー(8月～9月)